

現下の経済状況

(地域の事業者等の声)

業種等	事業者等の声
製造業	<ul style="list-style-type: none">○ 輸送費や資材の高騰をはじめ、ほぼ全てのコストが増加しており、今後の対応に頭を悩ませている。○ 資材高騰が今後も予測されるため、先行きが不透明。○ コロナ前に比べ用紙代が50%値上げとなり、販売価格に転嫁しなければ自社努力も限界な状況。
食料品 製造	<ul style="list-style-type: none">○ 原材料高騰の影響を大きく受けており、年間ランニングコストが1.5倍以上増加した。○ 主原料である魚や油、加熱に必要な灯油など、価格高騰によって月何十万もの増額となり痛手を負っている。

現下の経済状況

(地域の事業者等の声)

業種等	事業者等の声
建設業	○ 資材高騰の影響が大きい。
卸売業	○ 物品・資材等仕入価格の上昇から、販売価格も上げざるを得ない。 ○ 値上げによる客単価上昇で、売上・利益とも前年を超えたが、一般消費は鈍化していると感じる。
小売業	○ 電気料金や事務用品の値上がりにより営業コストが増加しているが、販売価格への転嫁ができておらず採算性が低下しているほか、物価上昇により消費者に節約志向が増している。

現下の経済状況

(地域の事業者等の声)

業種等	事業者等の声
宿泊業	○ 燃料費高騰の影響が大きい。ホステルなので、暖房費は削ることができず、フロント・ロビーの照明も24時間点灯している。現在はLEDを使用し、光量を落とすことで節電している。
レジャー施設	○ コロナが第5類になることで、徐々に客入りが回復すると期待している。
農業	○ 飼料代、電気代の高騰は影響が大きい。
漁業 林業 木材産業	○ 燃油価格や電気料金などの高騰により、大きな影響が生じている。